

## 受診までの流れ

ご本人・ご家族が  
かかりつけの医療機関へ相談

かかりつけの医療機関が  
地域医療連携室に診察申込書を fax

地域医療連携室がかかりつけの  
医療機関へ診察予約票を fax

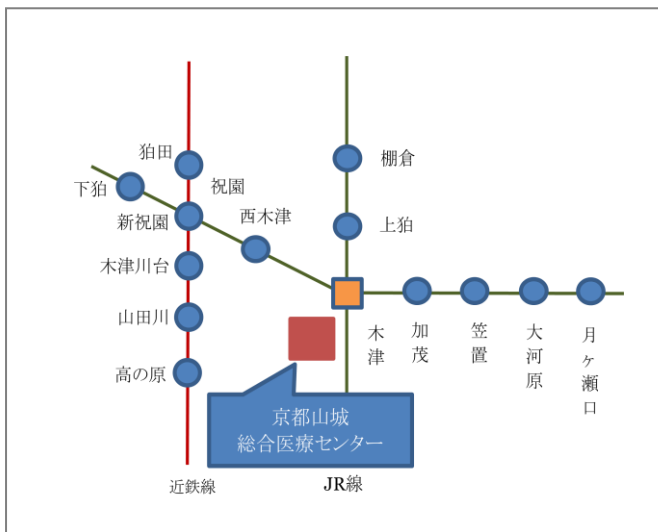
かかりつけ医療機関が  
ご本人・ご家族へ診察予約票を渡す

受診日には、以下のものをご持参下さい

- ① 紹介状の原本
- ② 現在服用中のお薬情報
- ③ 予約票
- ④ 可能であれば、もの忘れ連絡シート

\* 当院地域医療連携室にあります

\* かかりつけ医がない場合は  
直接センターへご相談ください。



- ・JR 木津駅下車 徒歩1分
- ・近鉄祝園駅より、JR 学研都市線に乗り換え乗車し  
JR 木津駅下車 徒歩1分
- ・近鉄山田川駅より奈良交通バスに乗車 JR 木津駅  
下車 徒歩1分

認知症に関するご相談・診察予約は  
認知症疾患医療センター

電話 0774-72-6363

受付: 月曜～金曜 9:00～16:00

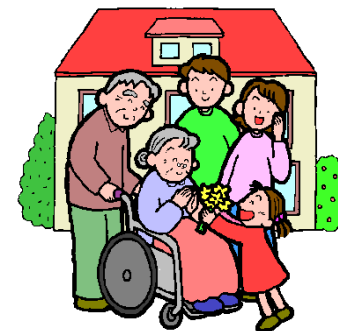
(土曜・日曜・祝日・年末年始除く)

京都山城総合医療センター

認知症疾患医療センター

〒619-0214 京都府木津川市木津駅前一丁目27番地

京都山城総合医療センター  
認知症疾患医療センター



## 認知症疾患医療センターとは

地域における認知症疾患の保健医療水準の向上を図ることを目的に、京都府が二次医療圏域ごとに設置しています。

おもな取り組みには以下のようなものがあります。

## センターでの取り組み

医師・看護師・臨床心理士・精神保健福祉士がチームで支援します。

### ◆専門医療相談対応

専用電話を設置し、看護師、精神保健福祉士が、ご本人・ご家族・保健医療関係者等からの相談に応じ、状況に応じて受診調整や認知症に関する情報提供、関係機関との連絡調整などを行います。

### ◆鑑別診断

頭部 MRI 等による画像検査や臨床心理士による神経心理検査を必要に応じ実施し、鑑別診断を行います。

鑑別診断の結果をもとに、今後の治療方針を決定させていただきます。

### ◆その他事業

認知症医療に関する情報発信

研修会の企画や地域のネットワークづくり など

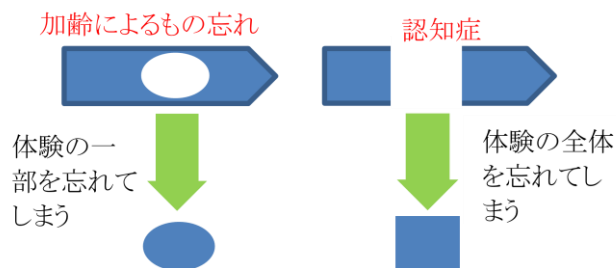
## 認知症とは

認知症は、加齢によるもの忘れと異なり、脳の器質的障害(正常な形態から変化した)により、いったん正常に発達した知的な能力が不可逆的に低下し、日常生活や社会生活に支障をきたした状態をいいます。アルツハイマー型認知症やレビー小体型認知症、脳血管性認知症、前頭側頭型認知症が代表的です。状態によっては行なうべき治療があり、**早期の診断が重要**です。

～認知症と加齢によるもの忘れの違い～

「食事をする」ことを例に挙げると、加齢によるもの忘れの場合は、「食べた」という体験は覚えていますが、何を食べたか思い出せないといったように体験の一部を忘れてしまいます。

認知症の場合は、「食事をした」という体験全体を忘れてしまいます。



## チェックしてみましょう!!

認知症に気がつきかけは・・・

家族・友人・近隣者の「あれ?」と思うという気付きから

- 置き忘れやしまい忘れが増えた
- 大事な約束を忘れる
- 物忘れの自覚がない
- 同じ話を何度もする
- 出来ることと出来ないことの差が大きい
- よく物忘れをするがヒントがあれば思い出す
- 昼夜が逆転している
- 良いときと悪いときの差が激しい
- ありありとした幻視がある
- パーキンソン症状がある
- 性格が別人のように見える
- 日に何度も同じコースを徘徊する
- ことば数が減少し、同じ言葉を繰り返す
- イライラして元気がなくなった
- やりなれた作業や仕事にミスが目立つようになった

※チェックシート(もの忘れ連絡シートから抜粋)

認知症についてご心配な方は、お気軽にお電話ください